

# けいけんは愛<sup>あい</sup>



ルアイボウ・W, 10才<sup>さい</sup>  
(オーストラリア, ビクトリア州)

あ<sup>あ</sup>る金曜日<sup>きんようび</sup>のこと、わたしが書い<sup>か</sup>  
た詩<sup>し</sup>を、集会<sup>しゅうかい</sup>のときに全校生徒<sup>ぜんこうせいと</sup>  
や先生<sup>せんせい</sup>、そして保護者<sup>ほごしや</sup>の前<sup>まえ</sup>で読むよう

に先生<sup>せんせい</sup>から言<sup>い</sup>われました。わたしはとてもこうふんし、「は  
い!」と答<sup>こた</sup>えました。でも、とてもきんちょうもしてました。

ステージの上<sup>うえ</sup>で、自分<sup>じぶん</sup>の出番<sup>でばん</sup>を待<sup>まち</sup>っているとき、心臓<sup>しんぞう</sup>がど  
きどきし始め<sup>はじめ</sup>ました。自分<sup>じぶん</sup>が書<sup>か</sup>いた詩<sup>し</sup>をたくさんの人<sup>ひと</sup>に読  
んで聞<sup>き</sup>かせると思<sup>おも</sup>うと、とてもきんちょうしました。

すると心<sup>こころ</sup>にある考<sup>かんが</sup>えがうかびました。毎朝<sup>まいあさ</sup>、登校<sup>とうこう</sup>する前<sup>まえ</sup>  
に、家族<sup>かぞく</sup>と一緒<sup>いっしょ</sup>にモルモン書<sup>しよ</sup>を讀<sup>よ</sup>んでいることを思<sup>おも</sup>い出<sup>だ</sup>  
しました。家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>と一緒<sup>いっしょ</sup>に聖文<sup>せいぶん</sup>を讀<sup>よ</sup>むことを考<sup>かんが</sup>えたとき、天<sup>てん</sup>  
のお父様<sup>とうさま</sup>のことが思<sup>おも</sup>うかびました。天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>がどれほど  
自分<sup>じぶん</sup>を愛<sup>あい</sup>してくださっているかを考<sup>かんが</sup>えました。そうすると、  
心<sup>こころ</sup>がなぐさめられて、ひとりぼっちではないと思<sup>かん</sup>じました。  
どきどきしなくなり、けいけん<sup>きんけん</sup>な気持<sup>きもち</sup>になりました。

『子供の歌集』の12ページに、このような歌詞<sup>かし</sup>があります。

しず ふか しゅおも  
静<sup>しず</sup>かに深<sup>ふか</sup>く主<sup>しゅ</sup>思<sup>おも</sup>う

それがけいけん

しゅ あい しゅ かんしゃ  
主<sup>しゅ</sup>を愛<sup>あい</sup>し主<sup>しゅ</sup>に感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>しよう

けいけんとは愛

おこな こと ば  
行<sup>い</sup>い言<sup>ご</sup>葉<sup>は</sup>けいけん<sup>けん</sup>に

イエスさまの教<sup>おし</sup>え

けいけん<sup>けん</sup>なとき感<sup>かん</sup>じる

かみ  
神<sup>かみ</sup>さまとイエスさま

しゅうかい  
集会<sup>しゅうかい</sup>のことできんちょうしていたとき、天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>の愛<sup>あい</sup>を  
感<sup>かん</sup>じたことに感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>します。天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>がわたしをとても愛<sup>あい</sup>  
しておられることを知<sup>し</sup>っているので感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>します。

むずかしいじょうきょうでも、けいけん<sup>けん</sup>になり、神<sup>かみ</sup>様の<sup>さま</sup>こと  
を考<sup>かんが</sup>えることを選<sup>えら</sup>べます。■